

日本製鉄との米鉄道用車輪・車軸合弁

住友商事 出資比率35%に拡大

北米鉄道市場で付加価値向上

住友商事は10日、日本製鉄と合弁の米国道用鍛鋼車輪・車軸メーカー、スタンダードスチール(CEO・堀賀郎氏、以下SS)への出資比率を20%から35%に高めたと発表した。住商は北米を重要な鉄道市場に位置づけ、SSの経営に従来以上に参画することで同社の事業成長に貢献し、北米鉄道市場における住商のプレゼンスや顧客への付加価値を高めることを目指す。従来からSSに派遣員1人を送り込んでいたが、今後は常勤役員1人、派遣員1人の計2人を送る。

SSはAAR(全米中央、パラチア山脈に鋼車輪・車軸事業の歴史SSを買収し、12年か鉄道協会)会員でもあり、囲まれるバーナムに本史も200年を超えら出資比率を80%・20の名門企業で従業員数社・工場を構える。鍛る。2011年に日本%としていた。SSの年産能力は車輪が30万枚、車軸が8

被覆線メーカーの「トワロン」

獣害対策用の新製品

被覆材に辛味成分の「カプサイシン」添加

金網に加工し実証実験

被覆線メーカーのトワロン(唐辛子)カプサイシン(唐辛子)入りワイヤーメッシュを開発し、同製品を用いた獣害対策用金網の実証実験および拡販に積極的に取り組んでいる。「カプサイシン入り被覆鉄線」は、心線となる亜鉛めっき鉄線に、同製品を用いた金網

に、ネズミやシカといった味覚を有する動物が舌を擦り付けた際に辛味(一過性の刺激)を感じるため、動物の忌避効果がある。それにより、学習した動物が金網に近づかなくなり、獣害が減少する。自治体、農家、ゴルフ場などさまざまな地域で近年、動物の被害による獣害被害は増加傾向にある。獣害が多発している。獣害被害は、九州・中国地方など西日本を中心に全国各地に相当な距離が設置されている。その中で、同製品を用いた獣害対策用金網についてトワロンは関東地区や近畿地区などで実証実験を行っており、獣害対策として効果を発揮している。

同社は、獣害が多発し、従来の金網では被害を防ぎ切れていない地域をターゲットに販売していく考えだ。藤本社長は「今までの獣害対策との違いは学習忌避効果。金網などハードのみで強引に境界



カプサイシン入り被覆鉄線の構造図

を作るのではなく、匂いや辛みで自然に境界を作る商材に育てたい。そして人間と動物の共存できる社会に貢献していく」と話す。



小山社長

鉄骨ファブリケーターがひしめく北関東地区で、社員への専門教育や女性溶接工の育成、就業環境の美化などで存在感を見せるのが鐵建だ。先進的な取り組みで、年間200人にも上る工場見学者の関心を引ける。



住所で操業している。年間生産量は1万6341 売上高は増収を果した。公道を挟んで隣接する1トにまで上昇。繁華を極め 地域の交流施設など著名物の工場のうち、第1工場 たことから翌18年度は量を 件も手掛け、地域貢献にも

ノボル鋼鉄 静岡支店の新熱処理工場 12月に着工へ

ノボル鋼鉄(本社・だ足元の市場環境が厳事務所棟は18年2月末 帯鋸盤を1台増設し、東京都千代田区、社長しく不透明感も増してに完成している。新熱 福島テクノカルセンター・三上晃史氏)は静岡 いるため、着工時期は 処理センターは新設設 1でNCフライス盤1支店・熱処理センター 慎重に見極めていく。 静岡支店のリフレッ 率で労働環境にも配慮 ンター1台を増設、宮(静岡市駿河区)の大型 シュは総額15億円の大 した仕様とする。 城テクノカルセンターリフレッシュ投資の中 型投資で熱処理工場、 19年6月期では、こ でNCフライス盤1台核となる新熱処理工場 建設について12月着 鋼材倉庫、事務所棟の れに先立ち切断・機械 を増設した。この切断工、2020年7月完 刷新、レイアウト変更 加工設備の増設を実施 ・機械加工設備の投資額を予定している。た などを行うもので、新 した。仙台支店でNC 額は4400万円。

社内加工主体に鉄骨受注 社員一丸で職場環境美化

を手掛けている。直近4年間の生産実績は1万3千6千トで推移する。特徴的なのは80%90%という社内加工比率の高さだ。小山幸江取締役は「内製化を進めたことで、工程管理もしやすくなった」とその意義を語る。17年度は鉄骨重量で8390トもある埼玉県の大型物流倉庫を受注したため、



を標榜。整理・整頓・清掃・清潔・躰(5S)の五つを守り、全員会議での情報共有や定期的な掃除に力を入れている。こうした活動や意匠的な事務所、工場建屋が評判を呼び、毎年多くの見学者が訪れるようになった。若手育成では地元の産業技術専門学校や工業高校の出身者を受け入れ、出前授業や鋼材提供でも協力。女性登用にも積極的で、図面製

日鉄ステンレス

日鉄ステンレス(社長 伊藤仁氏)は、商標・熱を結集し、国内外の幅の独自の鋼種規格として「NSSSTS」を新設した。ただける商品を提供する4月に3社のステンレス鋼板事業統合で発足したとともに、日鉄ステンレス規格

「NSSSTS」に

商標・独自鋼種規格

「NSSSTS」に

日鉄ステンレス(社長 伊藤仁氏)は、商標・熱を結集し、国内外の幅の独自の鋼種規格として「NSSSTS」を新設した。ただける商品を提供する4月に3社のステンレス鋼板事業統合で発足したとともに、日鉄ステンレス規格